

一里塚の建設と看板除去

まちの中心部に近づいた郊外部に、現代版一里塚と呼ぶカープールを造り、まちに関する情報提供の場とする。郊外部に位置するそれは、ある広さの車の休憩所で、道の駅がもつ機能のうち、まちの情報を提供することを主眼とする。案内嬢がいて質問に応じてくれる。役場や主たる商店、観光地、食堂、病院、その他サービス施設が分かり、それらを掲載したチラシも自由に持ち出せる。電話が役場に通じ、応答してくれる。

その代わり、まちから規定外の看板を一掃する。広告としては、決められた一定制限の色、形、大きさのものしか許さない。それを、景観形成事業として、道路事業の一環として計画的に整備する。